

## 18 年度財団法人武蔵野市福祉公社事業計画

福祉公社が事業を開始して 25 年が経過しました。これを一つの節目として各種事業を見直し、より一層、市民の期待に応える努力をしております。歴史と伝統を誇る「有償在宅福祉サービス事業」を始め、各種事業の開発にも積極的に取り組んでまいります。特に、昨年度に設置した有識者による「有償在宅福祉サービス事業検討委員会」の報告を得て、有償在宅福祉サービスの質の転換を図っております。

一方、介護保険事業は、公社の自主事業として平成 12 年 4 月より開始しましたが、居宅介護支援事業及び訪問介護事業等も順調に推移しております。また、移送サービス事業(レモンキャブ)やケアマネジャー研修センターなど、市からの委託事業の運営も円滑に行われております。更に、権利擁護事業、成年後見事業については、市民の中に徐々に浸透し、利用件数、相談件数ともに増加の一途を辿っております。市民ニーズに的確に応えられるよう、より一層の充実を図っております。

本年度は、①介護保険法改正に伴う「地域包括支援センター」の設置、②昨年 4 月にオープンした高齢者地域交流施設「ふれあい まつもと」を活用した新規事業(本年度は「パソコン教室」を実施)、③社会活動センターによる「ウォーキング教室」事業の 3 事業を新たに展開し、更なるサービスの向上に努めます。また、良質のサービスを提供するため、一昨年より開始した、職員の資質の向上を図る研修会等も充実させてまいります。

公社の事業につきましては、武蔵野市高齢者保健福祉計画に基づき、財団法人としての自主的な事業運営に努めてまいります。

### 記

#### 1 保健・医療・福祉サービスに関する啓発普及活動 (3,260 千円)

##### (1) 啓発普及事業 (1,000 千円)

市民を対象に講演会、映画会を開催し、健やかな老後生活のための様々な情報提供、福祉サービスの内容等の紹介を通し、高齢社会における市民の福祉マインドを啓発します。

また、「市民のためのおいじたく講座」として、コミュニティセンター等で民生・児童委員、地域福祉の会や市民グループ等の諸団体を対象に、福祉サービス、権利擁護事業、成年後見制度等について、制度を包括的に解説し、市民が個人として自立自助の老後生活を送るための情報提供をします。

##### (2) ホームヘルパー養成等講習事業 (2,260 千円)

2 級ホームヘルパー養成講習会等は前年度に引き続き公社の自主事業として開催し、ホームヘルパーの資質の向上に努めてまいります。

## 2 調査研究開発事業 (1,390 千円)

昭和 56 年4月の事業開始以来、公社の中心的なサービスである有償在宅福祉サービス事業について、平成 17 年度に報告された「有償在宅福祉サービス事業のあり方研究会報告書」を土台として、更に有識者による「有償在宅福祉サービス事業検討委員会」において、介護保険制度下で、時代の要請に合致した高齢市民の生活を包括的に支援するサービス内容への見直しを行います。

## 3 市民シルバー助け合い事業 (8,300 千円)

高齢者総合相談では、専門家による法律相談のほか、生活上の様々な悩み、各種福祉サービスの利用に関する総合相談、高齢市民の社会支援のための根幹的制度である権利擁護や成年後見制度等の相談に対応します。

低所得者のためのシルバー助け合い事業は、在宅生活困難高齢者等サービス事業及び入院時家事援助等サービス事業を実施します。

## 4 高齢者福祉施設の管理運営等受託事業 (418,450 千円)

### (1) 高齢者総合センター受託事業 (265,785 千円)

高齢者総合センターの管理運営について指定管理者として市の指定を受け、「センターの管理運営」、「在宅介護支援事業」、「地域包括支援事業」、「補助器具センター事業」、「デイサービス事業」を実施します。

#### ① センターの管理運営 (56,300 千円)

センターの管理運営を行います。

#### ② 在宅介護支援センター事業 (53,995 千円)

在宅の要介護高齢者に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じ、保健・福祉の各種サービスを総合的に提供するために、看護師・介護指導員・ソーシャルワーカーによる在宅介護支援事業を行います。

#### ③ 地域包括支援センター事業 (31,900 千円)

社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーを配置し、共通的支援基盤の構築、総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的マネジメント、介護予防マネジメントを行います。

#### ④ 補助器具センター事業 (27,940 千円)

作業療法士を配置し、専門的な見地から補助器具や住宅改善のアドバイスを実施します。

#### ⑤ デイサービスセンター事業 (95,650 千円)

在宅の要介護高齢者に対し、通所による介護、食事、入浴サービスなどを提供し、これを利用する高齢者の日常生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図ると共に、家族の身体的・精神的負担の軽減を図ります。

また、要支援高齢者に対しては、既存のサービスに加えて新たな予防給付サービスとして筋力向上プログラム等を実施し、予防を図ります。

(2) 北町高齢者センター受託事業 (87,800 千円)

センターの管理運営について指定管理者として市の指定を受け、デイサービス事業(コミュニティケアサロン)及び小規模ケアハウスの管理を行います。

(3) ケアマネジャー研修センター受託事業 (13,420 千円)

介護保険における介護支援専門員の資質の向上を図るため、新任研修や現任研修などを実施します。

(4) ホームヘルプセンター武蔵野受託事業 (19,580 千円)

高齢者及び難病者の生活支援ホームヘルプサービスを実施します。

(5) 移送サービス(レモンキャブ)事業 (31,865 千円)

既存の公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害者の外出の利便を図るため、地域住民の協力を得て、軽自動車の福祉型専用車両9台を運行する事業を市から受託し運営します。

また、利用者が安心して乗車できるため、運行協力員の公募や安全運転講習会を実施し、安全運行とサービスの向上に努めます。

5 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 (71,350 千円)

高齢者に対して健康の増進、教養の向上、趣味活動のための援助、仲間づくりの機会を提供することや世代を超えた児童との交流などを実施します。このため、美術や音楽及び体育を専修した専門の職員を配置すると共に各種講師による講座の充実を図ります。

また、高齢者の生きがいと健康増進事業「地域健康クラブ」はコミュニティセンターを拠点に、16 か所で実施します。

なお、平成 18 年度は地域包括支援事業が始まることから、ウォーキング講座と「ふれあい まつもと」を会場にしたパソコン講座を始めます。

6 高齢者の有償在宅福祉サービス事業 (123,405 千円)

(1) 有償在宅福祉サービス事業 (105,730 千円)

事業開始から 26 年目を迎えましたが、一層の利用者拡大に努めてまいります。このサービスによる利用者への社会的支援機能、親族機能の代行機能を、益々充実させ、市の高齢者福祉におけるセーフティネットとして、地域社会で利用者が安心して在宅生活を全うできるよう支援してまいります。

今後も「全国福祉公社等連絡協議会」等に参加し、積極的に他団体と情報交換等を行ってまいります。

また、権利擁護事業及び啓発普及事業を通じて有償在宅福祉サービスを PR するほか、市内の在宅介護支援センターや民生・児童委員との連携を図り、利

用者の拡大に努めます。

(2) 権利擁護事業 (4,465 千円)

事業内容の PR を強化するとともに、啓発普及活動との連携を図りながら、利用者の拡大に努めます。また、各在宅介護支援センター職員や民間ケアマネジャーからの困難事例の相談に応じ、実際に調整活動や担当者会議に出席するなどスーパーバイザー的働きも担っています。

(3) 地域福祉権利擁護事業 (4,700 千円)

東京都の地域福祉権利擁護事業について、基幹事業所として契約を締結し、利用者の利便性を確認し、権利擁護事業とともに利用者の拡大を図ります。

(4) 成年後見事業 (8,510 千円)

有償在宅福祉サービスや権利擁護事業利用者を中心に、判断能力が低下した場合に備えた任意後見契約を締結し、自立的な老後生活を支援するほか、市長による成年後見申立等の成年法定後見を受任します。

公社の成年後見事業は、単に法律行為の代理にとどまらず、事実行為を包含する生活関係の包括的支援を行います。

また、生活福祉課と連携して「東京都成年後見活用あんしん生活創造事業」における成年後見ニーズ調査を実施します。

7 介護保険における居宅介護支援事業及び訪問介護事業 (236,865 千円)

(1) 居宅介護支援事業 (37,655 千円)

介護保険法に基づく居宅介護支援事業を実施するほか、要介護認定調査や地区別ケース検討会を実施します。

(2) 訪問介護サービス事業 (199,210 千円)

ホームヘルプセンター武蔵野で、介護保険法による訪問介護サービス事業を実施します。

8 自立支援法による居宅介護サービス事業 (12,140 千円)

ホームヘルプセンター武蔵野で、障害者を対象にした自立支援法による居宅介護サービス事業を実施します。

9 その他

東京都社会福祉協議会、市民社会福祉協議会、医師会、民生・児童委員協議会、老人クラブ連合会等関係機関との連携を密にして事業を推進します。